

1. IRDR (Integrated Research on Disaster Risk : 災害リスク統合研究) 発足の経緯
2004年 ICSU Planning Group on Natural and Human-induced Environmental Hazards and Disasters 発足

2008年10月 ICSU (国際科学会議) Maputo, Mozambique で承認

2008年11月 ISSC (国際社会科学会議) Cape Town で共催者となることを承認

2009年 UNISDR (国連国際防災戦略事務局) 共催者となることを承認

2. IRDR 科学委員会

IRDRプログラムの詳細決定、推進の中心になる。委員16名 (日本からは竹内が委員)

2009年5月 第一回科学会議 Bergen, Norway

2009年10月 第2回 Paris

以下の4作業部会を立ち上げ、議論を開始した。

- ・リスクとバルネラビリティ (リスクの評価伝達)
- ・意思決定とレジリエンス計画
- ・長期データベース、モニタリングシステムとツール
- ・ケーススタディ (近年の災害を対象とした法医学的調査 (forensic investigations))

現在はまだどう進めるかの議論を始めたばかりで、実質研究活動は開始していない。主として ICSU の地域事務所や他の研究計画との連携や、資金の確保などを議論している。

委員16人中5人が IPCC Special Report on Disastersのエディターで、それで何を取り上げるかの関心が高い。

現在 Gordon McBean がカナダのファンドを申請中 (Canadian \$300K)

2010年4月14-16日 第3回 Paris 第4回は 北京の予定

3. IRDR の IPO (国際プロジェクト事務所)

2009年5月 北京、台北、ハイデラバードが立候補 前2者に絞ってさらに精査。

2009年11月 北京に決定、台北はサブオフィスと決定。

2010年2月22日 北京の中国科学院対地観測数字地球科学中心 (CAS-CEODE) に開設事務局長の人選が進んでいる

4. IRDR 小委員会 (IRDR 国内委員会)

2009年11月 土木工学・建築学委員会学際連携分科会 IRDR (災害リスク統合研究) 小委員会設置

構成委員: 地球物理 (気象、地震)、地理、土木、心理、医学、行政などから 25 人

2009年12月25日 第一回委員会開催 委員長に竹内を選出

検討課題として挙げられているのは

- ・東アジアでの IRDR 協力、IPO および国内委員会どうしの協力
- ・幹事団でアジアのケース・スタディ・サイトの検討
- ・東京の巨大地震、大規模水害対策の統合
- ・日本の経験の海外提供、防災制度・活動分野のマッピングの交換
- ・社会の防災力の ISO（アジアに適用できる標準を出すのが重要）

5. ICSU 地域事務所との協力

IRDR は ICSU の主導であるため、ICSU の地域事務所（アフリカ（プレトリア）、アジア（クアラルンプル）、中南米（リオデジャネイロ））との協力が重視されている。各地域事務所が災害研究計画を持っており、それとの連携が模索されている。

2009 年 10 月 13-14 日 Penang, Malaysia でアジア事務所地域諮問会議開催

- ・ハザードマッピング
- ・能力開発
- ・ケーススタディ

をテーマに進めることが合意された。ニュージーランドはケーススタディの一つとして、サモアの津波を取り上げることを提案している。

6. 土木工学・建築学委員会地球環境の変化に伴う水害・土砂災害への対応分科会、地震・火山災害への対応分科会

IRDR への貢献の一環としての位置づけで、望月常好委員を中心に、国交省地方整備局地域河川事務所との会合が持たれ、洪水災害対応に関する意見交換が行われている（6 月下旬、7 中-8 上 11 中-12 中に実施）。出された意見には以下のようなものがあった。

- ・関係機関の人事、優先順位などの問題
- ・住民の認識が必ずしも行動力に結びつかない
- ・避難の実行と不実行の判断基準や誘導の難しさ
- ・将来予測など基礎的な情報の乱れ
- ・相談できる研究者が少ない

7. その他

- ・ IRDR Science Plan の仮訳を ICHARM において実施（2009.3）
http://www.ifi-home.info/ICSU_IRDR_JP.pdf
- ・ 2010 年 3 月 18 日愛媛大学において日本河川協会主催「防災シンポジウム in 松山」が行われ、竹内が「IRDR の問題意識と水防災戦略の世界的動向」と題して講演予定。
- ・ IUGG 2011, 28 June – 7 July 2011, Melbourne, Australia において、IUGG GeoRisk Commission（委員長竹内）& others が“Union Symposium and Open Forum on Natural Hazards”を提案している。

IRDR 報告 配布資料一覧

1. IRDR 報告 (2010/03/11)
2. IRDR 説明 ppt
3. IRDR HP
4. IRDR 紹介記事 水循環 72 号
5. IRDR 小委員会設置目的と名簿
6. IRDR 小委員会第一回議事録
7. IUGG, Melbourne 2011 Union Symposium and Open Forum on Natural Hazards:
Proposal